

リンゴ「シナノゴールド」の台木は「JM7」で！

【1 成果概要】

リンゴ「シナノゴールド」の台木は、「JM7」が最も適しています。

「JM7」台木は糖度が最も高く食味に係る品質が優れます。

「JM7」台木における穂品種「シナノゴールド」の樹体生育は、JM1 < JM7 < M.9の順に幹周、樹幅、樹高、樹容積が大きくなり、「JM7」は中庸な樹体となります。

「JM7」の樹容積当収量は「JM1」と比較し大差は無く、「M.9」台木より多くなります。

表1 台木別果実品質 (H18、20年の平均値)

台木	調査果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (Brix)	酸度 (g/100ml)	果皮色 (指数)	デブソ反応 (指数)	油上がり (指数)
JM1	415.0	13.5	14.6	0.449	4.9	0.32	1.3
JM7	396.6	13.8	15.2	0.474	5.4	0.49	1.4
M.9	393.6	13.7	14.8	0.463	4.9	0.56	1.3

果皮色：きおう表面色カ-チャート指数：0(緑)～6(黄)
 デブソ反応：ヨド加反応の指数、0(無)～5(全染色)
 油上がり指数：0(無)～3(多)

表2 台木別樹体データ(H20)

台木	幹周(cm)	樹幅(cm)	樹高(cm)	樹容積(m ³)
JM1	19.2	235.6	256.0	7.6
JM7	26.7	281.9	285.4	12.1
M.9	34.0	353.5	299.6	20.1

$$\text{樹容積} = 2/3 \times (\text{樹幅}/2)^2 \times \text{樹高}$$

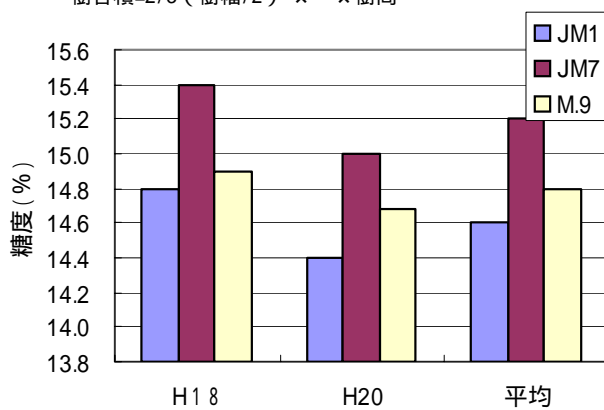


図1 台木別糖度

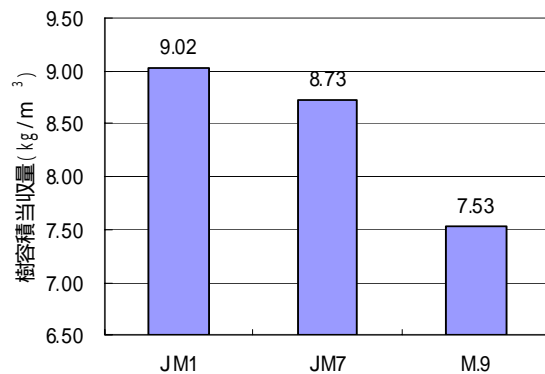


図2 台木別樹容積当収量

樹容積当収量 = 累積収量/樹容積。H15～H20年度の累積収量。H19年欠側。

【2 効果】

「シナノゴールド」導入時の植栽条件に見合う台木選定の資となり、生産性の安定した新・改植につながります。

【3 適応対象】

農業普及員等の指導者等